



校長室だより

アイスの子

志布志市コミュニティースクール
志布志市立香月小学校

令和2年12月24日(木) No. 13

香月小ホームページでも御覧いただけます

自分のもの 他人のもの！

すでにホームページで御覧になったり実物を御覧になったりした方もいらっしゃると思いますが、吉直寿志会長はじめおやじの会の皆さんが、門松を作ってくださいました。今年は例年にもまして3メートルを超える立派な門松ができました。おやじの会の皆様に感謝申し上げます。

さて、今日は2学期の終業式でした。学期末、先生方が心配することは、子供たちが気の緩みから事故にあったり怪我をしたりしないだろうかということです。大きな怪我などはなかったのですが、最近、気の緩みによる気になる行動が見受けられました。学校の帰り道、伐採した竹を道路に引き出して遊んだり土手に落書きをしたりということがありました。一見、ただの藪であったり草むらであるような場所でも、それぞれ他人の敷地であるという意識が不足していたのかもしれませんが。そしてまた、それはわたし大人が子供たちにしっかり教えなければならないことでもあると思います。

「自分のもの 他人のもの」を子供たちに教えるためには、大人が手本を見せることが大切ではないかと思えます。



子供の身長よりはるかに高い門松

2学期、うれしかったこと ～子供の姿 親の姿 見守り隊の方から～

始業式で子供たちにも話しましたが、この2学期、コロナ禍にもかかわらず、子供たちは限られた条件の中で、運動会や持久走大会、修学旅行や宿泊学習など精一杯頑張ってきました。その姿にわたしたちは、「量」だけでなく「質」の大切さを学びました。また、子供たちの学習に向かう姿がたいへん充実してきていることもこの2学期の成果でした。それは、授業中の子供たちのまなざしに顕著に表れており、「この調子で頑張れ！」とつい応援したくなる場面が幾度となくありました。可能性を秘めた子供たちの3学期の頑張りに期待したいと思います。

2学期にうれしかったことで欠かせないことがあります。それは、お父さんやお母さん方これまで以上の学校へのご協力です。学校は子供たちの生活の場であり学びの場であります。

コロナ禍でPTA活動もままならない中、池の掃除やトイレの掃除など、「子供たちの学校」を大切に思う親心を積極的な行動で表していただきたいへん感動いたしました。保護者の後ろ姿を見ながら子供たちはさらに豊かに成長していくことと思えます。

最後に、見守り隊の方からもうれしい話がありました。毎朝、登校を見守ってくださっている見守り隊の方に感謝の手紙を渡した子供がいて、たいへん喜んでおられました。見守っていただいていただけでなく、感謝の気持ちを持って子供が一人でも増えることを願っています。

さまざまな思い出を胸に年末年始をお迎えいただきたいと思えます。2学期のご協力、ありがとうございました。そして、3学期もよろしくお願い致します。



修学旅行 アクリル板ごしの昼食



運動会前校庭の水を吸い取る6年生



池を掃除するお父さん



トイレを掃除する総務部員



見守り隊員との交流

冬休みの感染症対策について

冬休み中もこれまでの感染症対策を継続することが大切です。特に、国は「静かな年末年始」を呼びかけています。また、沖縄県では事業所において、歯磨きが原因ではないかというクラスターが発生しています。下記のように日本学校歯科医会による歯磨きの際の注意を意識し、感染リスクを軽減するよう努めましょう。

新型コロナウイルス感染防止の歯磨きのポイント

- 1 洗面所ではソーシャルディスタンスを保ち、密にならないように時間帯をずらす。
- 2 歯磨きによる飛沫を防ぐため、私語を控える。
- 3 歯磨き中は口を結び、前歯の裏を磨くときは飛沫しないよう口を手で覆って磨く。
- 4 うがいは少量の水で1～2回、跳ね返らないように低い位置からゆっくり吐き出す。
- 5 使用した歯ブラシはよく洗い、水を切って乾燥させて保管する。